

請 願 文 書 表

(令和4年2月25日)

<p>受理番号・受理年月日及び件名</p>	<p>請願第18号(4.2.18) 新型コロナウイルスに感染し、又は濃厚接触者となった小規模事業者に対する傷病手当等の制度創設を求める請願</p>
<p>請 願 の 要 旨</p>	<p>新型コロナウイルスによる世界的な災害は、神戸市内でもサプライチェーンの影響による物不足や飲食店の時短営業、外出や移動の自粛など、幅広い業種に影響しており、中小・小規模事業者の経営と暮らしは危機に追い込まれている。</p> <p>全国商工団体連合会の自主共済である全商連共済会の請求結果では、全国で1849人から新型コロナウイルス感染症による共済金の請求があり、そのうち飲食・料飲業で26.9%、サービス・小売業で20.4%など、対面で商売することが避けられない業種を中心に、新型コロナウイルスの感染者と濃厚接触者が広がっている。国は、国民健康保険の傷病手当の制度を拡充し被用者を対象にしたが、いまだに個人事業主は制度の対象になっていない。個人事業主が新型コロナウイルスに感染したり濃厚接触者になっても安心して休業できず、新たな感染を拡大する可能性があったとしても働き続けなければ暮らしていくことができない。コロナ禍の中で、全国で35の自治体が傷病手当や見舞金等の制度を創設している。</p> <p>よって、地域経済と小規模事業者を守るため、新型コロナウイルスに感染し、又は濃厚接触者になり仕事ができない小規模事業者に対して、国保財源にとらわれず、感染拡大防止対策の観点からも、市独自の経済対策としての傷病手当又は見舞金の制度を創設するよう請願する。</p>
<p>請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名</p>	<p>神戸市兵庫区 兵庫県商工団体連合会 会長代行 加 口 良 秋</p>
<p>紹 介 議 員 の 氏 名</p>	<p>大かわら 鈴子</p>
<p>付 託 委 員 会</p>	<p>予算特別委員会</p>